

横浜市環境管理計画年次報告書

2016（平成 28）年版

2016（平成28）年版 横浜市環境管理計画年次報告書

- 目次
- はじめに

第Ⅰ章 総合的な視点による基本政策

1. 環境と人・地域社会

～横浜型のエコスタイルを実践する人と環境とのきずなが生み出す地域の活力～	1
(1) 人と環境とのきずなづくり	2
(2) 企業の環境行動	2
(3) 環境活動のネットワークづくり	3
(4) 「学び」の輪づくり	4
(5) 横浜市役所環境行動宣言による取組の推進	5

2. 環境と経済

～環境分野をツール・フィールドとした新たな展開による、市内経済の活性化と地域のにぎわいづくり～	7
(1) 環境分野における需要の創出を通じたビジネスチャンスの拡大	8
(2) 環境分野における市内企業の技術革新（イノベーション）推進	9
(3) 地域資源を生かしたシティプロモーションの展開	10
(4) 新興国等での環境対策の支援と環境ビジネスの海外での戦略的な展開	11
(5) 横浜の特色ある都市農業の推進と先進的生産技術の発信	11

3. 環境とまちづくり

～環境と調和・共生した魅力あるまちづくり～	13
(1) 都心部におけるエコまちづくりの推進	14
(2) コンパクトで活力ある郊外部のまちづくり	15
(3) つながりの海（まちづくりと連携した海づくり）	16
(4) 人やモノが移動しやすく環境にやさしい交通・物流体系の形成	16
(5) 環境に配慮した建築物の普及	19
(6) 多様なニーズに対応できる快適な公園の整備	19
(7) 安心して生活するための下水道・河川の浸水対策	19

第Ⅱ章 環境側面からの基本施策

1. 地球温暖化対策 ～化石燃料に過度に依存しないライフスタイルへの転換～	21
(1) 低炭素なまちづくりに向けたエネルギーマネジメント	22
(2) 住宅・建築物の温暖化対策促進	23
(3) 公共施設における未利用エネルギー等のさらなる活用検討・導入	23
(4) 低炭素型交通の推進	25

(5) 温室効果ガス削減に有効な制度や仕組みの構築	2 5
(6) 市民のライフスタイル変革に向けた「エコ活。」普及	2 6
2. 生物多様性 ～身近に自然や生き物を感じ、楽しむことができる豊かな暮らし～	2 7
(1) 普及啓発	2 8
(2) 保全・再生・創造	3 0
(3) しくみづくり	3 2
(4) まちづくりと経済活動	3 3
3. 水とみどり ～自然の恵みを享受できる環境の保全・再生・創造～	3 5
(1) 市民とともに次世代につなぐ森を育む	3 6
(2) 市民が実感できる緑をつくる	3 7
(3) 効果的な広報の展開	3 8
(4) 水循環の再生	3 8
(5) 多自然川づくりの推進	3 8
4. 食と農 ～“食”と“農”との連携による横浜型農業の新たな展開～	3 9
(1) 持続できる都市農業の推進	4 0
(2) 市民が身近に感じる場をつくる	4 1
5. 資源循環 ～循環型社会の構築～	4 3
(1) 一般廃棄物に関する取組	4 3
(2) 産業廃棄物に関する取組	4 6
6. 生活環境 ～安全で安心・快適な生活環境の保全～	4 9
(1) 大気環境の保全	4 9
(2) 水環境の保全	5 3
(3) 地盤環境の保全	5 7
(4) 化学物質対策の推進	5 9
(5) 騒音・振動対策の推進	6 1
(6) ヒートアイランド対策の推進	6 4
 第Ⅲ章 区役所の環境施策	 6 7

はじめに

「横浜市環境管理計画」について

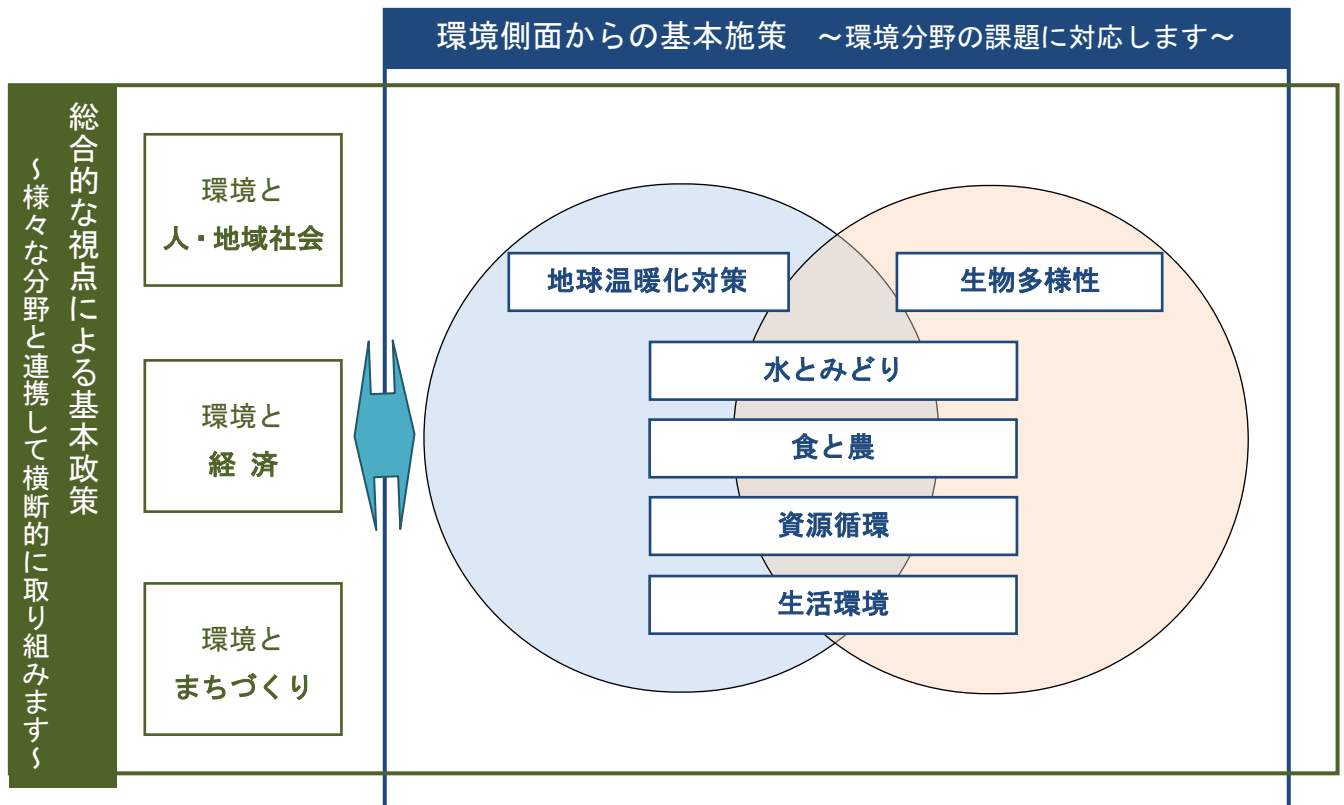
「横浜市環境管理計画」は、「横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例」に基づいて策定する、環境の総合計画です。

環境を取り巻く状況の変化に対応し、環境行政を総合的に推進するため、「横浜市環境管理計画」を2011（平成 23）年に策定し、その取組を検証・評価し、成果や明らかとなった課題、環境創造審議会からの答申を反映させて2015（平成 27）年1月に改定しました。

本書はこの計画の2015年度の取組状況をまとめたものです。計画期間は、中長期的な視点での目標としては、2025（平成 37）年度まで、事業の実施に関する視点での目標は、2017（平成 29）年度までとしています。

<施策の体系>

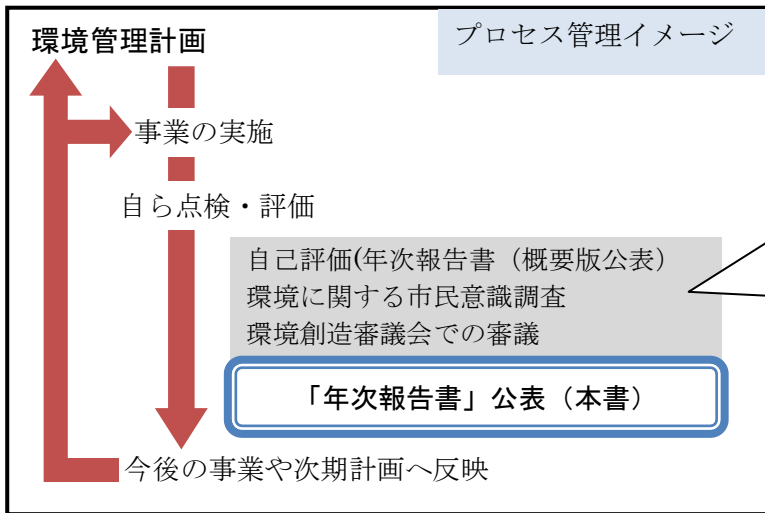
- 総合的な視点による基本政策として、「環境と人・地域社会」「環境と経済」「環境とまちづくり」の3つの視点による体系を構築し、総合的・横断的に取組を進めます。
- 「地球温暖化対策」及び「生物多様性」については、持続的に、様々な施策と連携して推進することで、より大きな効果を生み出すため、環境行政における包括的な分野として位置づけます。
- 環境側面からの基本施策として、「地球温暖化対策」、「生物多様性」に加え、「水とみどり」、「食と農」、「資源循環」、「生活環境」の6つの視点から施策を体系化します。



環境行政のプロセス管理

計画の実効性を確保し、環境行政の継続的な進化を図るため、環境施策の取組状況を把握し、その成果や課題を今後の取組へつなげます。

※評価にあたっては、取組状況を行政自ら点検・評価、市民意識調査の結果を踏まえて、横浜市環境創造審議会において外部からの点検・評価・提言をいただき、各取組・施策につなげていきます。



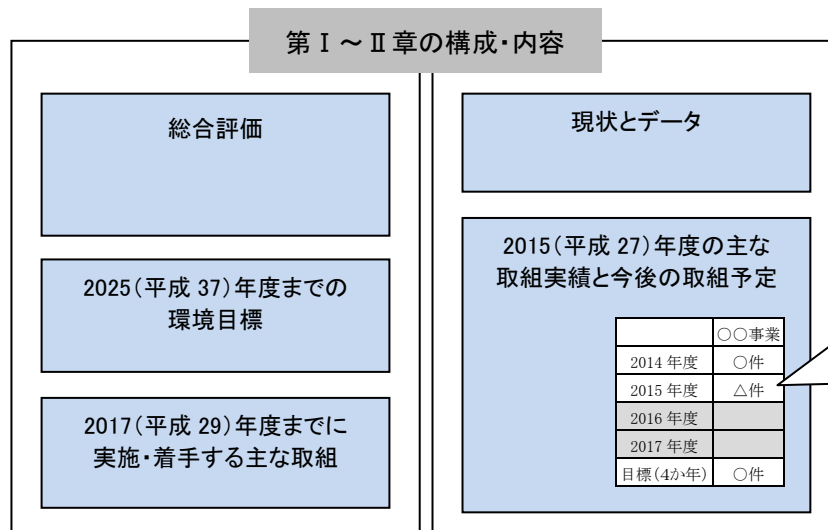
環境に関する市民意識調査
 今後の環境行政における施策立案の基礎資料として活用するため、市民の環境に関する意識や市政に対する満足度、要望等を把握することを目的に毎年実施しています。
 調査結果は、横浜市のホームページで公表しています。
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/d/ata/chousa/>

本書の構成

本書は「第Ⅰ章 総合的な視点による基本政策」「第Ⅱ章 環境側面からの基本施策」「第Ⅲ章 区役所の環境施策」で構成されています。

第Ⅰ章 総合的な視点による基本政策

第Ⅱ章 環境側面からの基本施策



本文中の表は、計画期間における各施策の主な取組(事業)に対する事業量の実績値を記載しています。網掛け部分は今後実績を記載します。

第Ⅲ章 区役所の環境施策

18区役所の環境に関する主な取組をまとめています。区民や団体、企業と連携して様々な取組を展開しています。

年次報告書について

「横浜市環境管理計画年次報告書」は、「横浜市環境の保全及び総合に関する基本条例」第20条に基づき、「横浜市環境管理計画」に掲げた施策・事業の進捗よく状況をまとめ、毎年公表しているものです。

環境に関するデータをまとめた資料編は、ホームページで公表しています。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/jyorei/keikaku/kanri>